

子ども、子育て中の人

【主な特徴や不自由に感じていること】

- ・子どもは身長が低いため、大人用の設備を利用できずに困ることがあります。
- ・子どもは、何でも口に入れようとします。
- ・子どもは急に飛び出したりします。
- ・子どもは予期せぬ行動をするため、子育て中の人からは子どもから目が離せません。
- ・ベビーカーを使用している場合、階段や大きな段差などの昇り降りが困難です。
- ・乳児を連れた人が施設を利用する際、授乳する場所に困ることがあります。

【配慮すべき事項／行動に移すために】

- ・施設に子ども用の便器、子ども用のいす、授乳室等を設置します。
- ・子どもが危険な行為をしようとする場合は、やめるように注意します。
- ・通学路などでは、子どもの急な飛び出しに注意して運転する必要があります。

外国人

【主な特徴や不自由に感じていること】

- ・日本語での会話がうまくできない人がいます。
- ・地名や名前などで難しい漢字を使用したり、特殊な読み方の場合は分からないことがあります。
- ・宗教上の理由などにより、食べられない物があります。

【配慮すべき事項／行動に移すために】

- ・日本語習得の機会や、交流の場を提供します。
(公民館等で、日本語教室があると便利です。)
- ・外国人の旅行者等が道に迷っている時は、こちらから声をかけて案内します。
- ・観光や生活などに関する外国語表記のパンフレットを作成します。
- ・案内などに外国語表記も行います。
(英語以外にも複数言語の表記が有効です。
また、施設名などの日本語の読み方をローマ字で正確に表記すると、道を尋ねる時に便利です。)
- ・外国人が相談できる人や場所を提供します。

施策体系

この指針で目指す社会を実現するため、ハード面においては「安全・安心で快適なまちづくり」、ソフト面においては「分かりやすい情報提供とサービスの向上」、「一人ひとりを大切にする意識づくり」を推進していきます。

